

清流

川メール

発行日／令和6年1月1日
 発行／静岡県河川協会
 (事務局：交通基盤部河川砂防局内)
 E-mail:kasenk_shizuoka@yahoo.co.jp
 〒420-8601 静岡県静岡市葵区追手町9番6号
 TEL：054-221-3032 FAX：054-221-3260



富士川から見た富士山(富士市)



二級河川敷地川における浸水被害箇所現地調査
 (静岡県・袋井市・磐田市・国土交通省浜松河川国道事務所 合同)

C O N T E N T S

新春挨拶&河川協会の取り組み

静岡県河川協会長新春挨拶	1
静岡県河川協会河川等功労者表彰	
令和5年度中部地方治水大会	2
令和5年度治水事業促進全国大会・災害復旧促進全国大会	

県内のトピックス

令和5年台風第2号の概要と被災状況	3
・降雨の概要	
・県内の浸水被害と公共土木施設被害の発生状況	
令和4年台風第15号による被害箇所の復旧状況	4
近年の豪雨災害とその対応を踏まえた水災害対策	
・気候変動を踏まえた「狩野川水系河川整備基本方針」の変更	5
河川・海岸愛護団体を表彰しました	
「多自然川づくり事例発表会」を開催しました	
「三保松原の景観改善 10周年記念シンポジウム」を開催します	

ながさちの川自慢

伊豆の国市・御殿場市	6
------------	---

インフォメーション

静岡県河川協会県外視察研修会	7
令和5年度河川関係事務研修会	
静岡県河川協会事務局より	

静岡県河川協会長新春挨拶

令和6年の新たな年を迎え、謹んで新春の御挨拶を申し上げます。

会員の皆様をはじめ関係機関の皆様方には、日頃から河川・海岸事業の推進及び当協会の運営に深い御理解と温かい御支援を賜り厚く御礼申し上げます。

昨年は、台風第2号の影響により、6月1日夜から3日にかけて記録的な大雨に見舞われ、一昨年の台風第15号で被災し応急工事を実施した箇所も含め、県内各地で広域的・同時多発的に浸水被害や土砂災害が発生いたしました。

折しも本年は、台風第8号の影響により静岡県内全域で浸水被害をもたらした七夕豪雨から50年目にあたりますが、今般、気候変動に伴う局地的豪雨の影響により水災害が全国各地で激甚化・頻発化している中、河川の流域のあらゆる関係者が「流域治水」の取組を強力に推進していくことがますます重要になっております。

当協会におきましても、会員間、関係機関との連携を深め、「地域住民の安全・安心」の確保と「魅力ある水辺空間」の創出のため、更なる事業展開を図ってまいりますので、皆様には一層の御支援、御協力をお願いいたします。



静岡県河川協会

会長 **頼重秀一**（沼津市長）

静岡県河川協会河川等功労者表彰

河川等功労者表彰は、県内の治水、利水をはじめ、河川等の環境美化、水防活動等に多大な功績が認められた団体や個人を表彰する制度です。今年度は、5団体2個人が受賞されました。賞状と記念品を贈り、受賞者の功績を称えました。受賞された皆様の御尽力と御苦労に対し、心から敬意を表しますとともに、深く感謝申し上げます。



ちゃん君会



馬込川をきれいにする会

市町名及び支部	氏名または団体名	主な功績
熱海市 熱海支部	大館節生	平成25年から10年間河川管理協力員を務め、日々熱海市内の河川の点検・監視業務を担っています。令和3年7月の土石流災害に際しては被災しながらも業務を継続し、地域の安全確保に貢献しています。
伊豆市 沼津支部	ちゃん君会	17年以上にわたり船原川の清掃活動を通じて河川の美化保全に実績をあげています。「ホタル」の産卵場所や餌となる「カワナナ」の保全にも取り組み、船原川を「ホタル」の飛翔地として地区のシンボリック的存在にしました。
静岡市 静岡支部	小野田稔	平成26年から9年間静岡市の樋管操作に従事しています。樋管の点検操作と洪水時のゲートの開閉等、昼夜を問わず大雨による出水に備え、住民の生命と財産を洪水から守っています。
静岡市 静岡支部	NPO法人静岡県地域づくり研究会	令和4年台風第15号の大災害の際、被災直後から公共土木施設の被災状況を調査し、災害復旧事業の推進に寄与しました。また日頃から河川・海岸・急傾斜地や施設の点検を実施し、「防災エキスパート」として地域の安全に貢献しています。
藤枝市 島田支部	岡部第1自治会	20年以上にわたり、岡部川など地域に流れる4河川の草刈と清掃活動を継続、河川の美化・保全で功績をあげています。保全された堤防は、沿線住民の憩いの場として大変親しまれています。
藤枝市 島田支部	高柳仁平町内会	15年以上にわたり、地域に流れる黒石川の草刈と清掃活動を継続して河川の美化活動で功績をあげています。沿川住民の憩いの場としての賑わいを創出しています。
浜松市 浜松支部	馬込川をきれいにする会	長年にわたり馬込川の流域巡視、不法投棄監視活動などの安全点検や草刈りを行い、また啓発看板やのぼり旗を作成して河川愛護精神の啓発・促進も図り、他団体の模範となっています。

※台風第2号の影響により総会を中止したため、今年度の表彰式は各土木事務所にて実施しました。

令和5年度中部地方治水大会

令和5年10月26日に岐阜県岐阜市において、「令和5年度中部地方治水大会」が開催されました。この大会は、治水事業の重要性を広く喚起するとともに、国会、政府並びに関係当局に対し、治水利水事業の強力な推進、災害発生時の速やかな対応と多様な治水対策の措置などを提言することを目的に行われるもので、中部5県の治水関係者等が参加しました。本県からは、草地博昭磐田市長、中野弘道焼津市長をはじめとする20名に参加いただきました。

記念シンポジウムに続いて開催された大会では、主催者や来賓挨拶に続いて国土交通省水管理・国土保全局と中部地方整備局からの治水事業概要説明、大垣市長による意見発表が行われた後に、大会決議が採択されました。また次期開催県について静岡県で開催することを決定し、閉会しました。



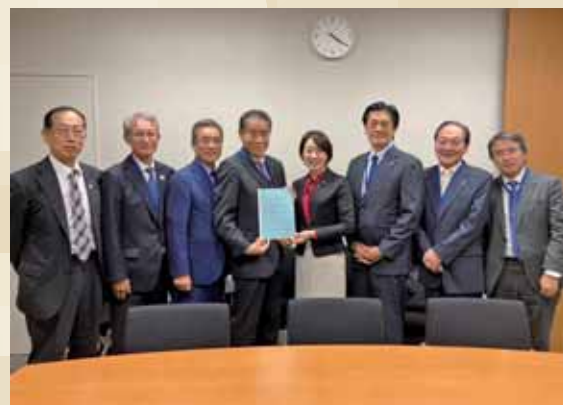
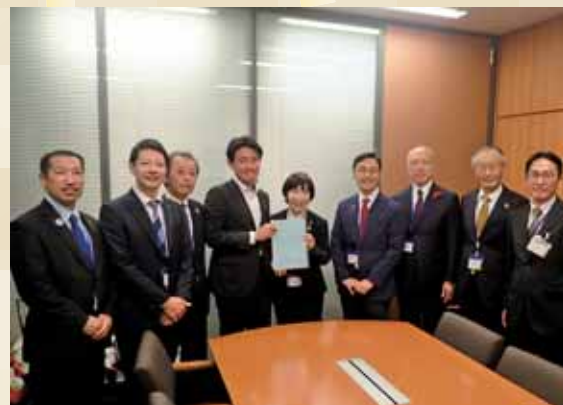
中部地方治水大会開催の様子

治水事業促進全国大会・災害復旧促進全国大会

令和5年11月9日、治水事業費を確保する運動の一環として、「令和5年度治水事業促進全国大会」が東京都千代田区で開催され、本県からは中野祐介浜松市長、仁科喜世志函南町長をはじめとする14名の市町長と20名の市町職員に参加いただきました。大会終了後には、本県選出国會議員19名に要望活動を行いました。

翌11月10日には、災害復旧事業の促進と防災対策の強化推進を要望するため、「令和5年度災害復旧促進全国大会」が同じく東京都千代田区で開催され、本県からは仁科喜世志函南町長、岩井茂樹東伊豆町長、池田修長泉町長をはじめ26名の市町職員に参加いただきました。全国各地の災害復旧事業又は災害の防止事業に関し、長年に渡り献身精励し、顕著な功績があった個人及び団体が表彰され、県内から、村松武馬氏、鈴木浩治氏の2名が表彰されました。大会終了後、本県選出国會議員19名に対して要望活動も行いました。

近年は、豪雨災害が頻発しており、被害も大きくなっていることから、今後も積極的な要望活動を行ってまいります。



治水事業促進全国大会要望活動



災害復旧促進全国大会開催の様子

令和5年台風第2号の概要と被災状況

降雨の概要

昨年の6月1日から3日にかけて、本州付近に停滞した梅雨前線に向かって台風第2号からの暖かく湿った空気が流れ込んだ影響で、静岡県では広い範囲で非常に激しい雨が長い時間に渡って降り続けました。

特に、2日夕方から深夜にかけて県中西部に線状降水帯が相次いで発生したことにより、記録的な豪雨となり、敷地観測所（磐田市敷地）では、観測史上1位となる日降水量を記録した他、複数の観測所において24時間雨量が500mmを超えました。

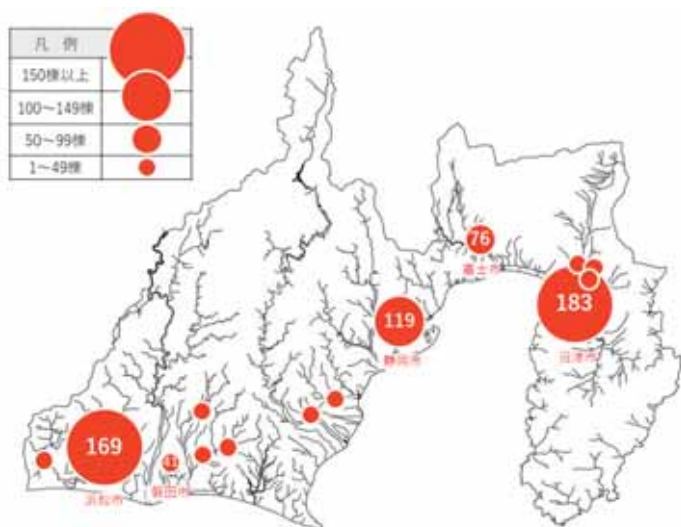
伊久美観測所（島田市伊久美）では、県内最大の短時間降雨（60分間雨量）68mmを記録し、須山観測所（裾野市須山）では、県内最大の24時間雨量623mmを観測しました。

県内の浸水被害と公共土木施設被害の発生状況

県内では、全域で浸水被害や道路や河川などの公共土木施設と被害が多数発生しました。

県内の浸水被害は床上浸水179戸、床下浸水435戸の合計614戸となっています。（令和5年6月14日時点）

また、交通基盤部所管の公共土木施設被害は県災害、市町災害（政令市含む）合わせて237箇所、約152億円となっています。（令和5年7月28日時点）



県内の浸水被害状況（令和5年6月14日時点）



浸水被害状況（沼津市原）



浸水被害状況（静岡市清水区鳥坂）

工種	県	市町	合計	政令市		合計
				静岡市	浜松市	
河川	127	3	130	0	14	144
海岸	0	0	0	0	0	0
砂防設備	4	0	4	0	0	4
急傾斜地崩壊防止施設	3	0	3	0	0	3
道路	21	9	30	8	44	82
橋梁	0	0	0	0	0	0
下水道	0	1	1	0	0	1
公園	0	1	1	0	0	1
港湾	2	0	2	0	0	2
合計	157	14	171	8	58	237

静岡県交通基盤部所管の公共土木施設被害箇所数
（令和5年7月28日時点）



二級河川敷地川の堤防決壊
（磐田市敷地）

令和4年台風第15号による被災箇所の復旧状況

令和4年9月の台風第15号では、県中西部地域を中心に道路や河川などの公共土木施設の被害が多数発生し、災害査定による採択額は、平成以降最大の270億円となりました。

令和5年10月末までに、県管理施設329箇所のうち75箇所が工事を完了し、213箇所では早期完成に向けて工事を進めています。

被災状況



復旧工事後



二級河川原野谷川（掛川市原里）

一般県道蔵田島田線（島田市伊久美）

二級河川朝比奈川（藤枝市岡部町玉取）

近年の豪雨災害とその対応を踏まえた水災害対策

近年の度重なる豪雨災害により、水災害は新たなステージに入りました。今後の静岡県の水災害対策は、気候変動による降雨量の増加等を考慮した外力に対し、流域のあらゆる関係者が協働で対策に取り組む「流域治水」を推進していきます。

このため静岡県では、対象流域に設置した「流域治水協議会」等において関係者と連携しながら、流域治水対策の全体像を示す「流域治水プロジェクト」や浸水常襲地区の被害軽減対策をまとめた「水災害対策プラン」に基づき、ハード・ソフトの対策を着実に実施していきます。

特に本年は、近年の豪雨被害やその対応で明らかになった課題の解決のため、河川改修等のハード対策の推進に加え、住民等の避難行動を促す災害リスク情報の発信強化や水災害の自分事化を促す防災教育の強化、施設が機能を発揮するための維持管理の推進等の対策に取り組んでいきます。

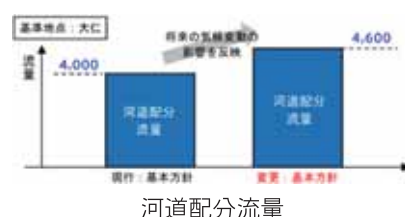


流域治水協議会等の設置状況

気候変動を踏まえた「狩野川水系河川整備基本方針」の変更

国土交通省は、近年の全国的な水災害の頻発に加え、今後、気候変動の影響により更に激甚化するとの予測を踏まえ、治水計画を「気候変動の影響を考慮したもの」へと見直し、抜本的な治水対策を推進することとしています。

国土交通省沼津河川国道事務所は、気候変動の影響を踏まえ、令和5年8月に狩野川水系河川整備基本方針を変更しました。気候変動の影響を考慮した治水計画は県内初となります。今後、静岡県の管理河川においても気候変動を考慮したものへと順次対応していきます。



河川・海岸愛護団体を表彰しました

県では、県民の暮らしを支える大切な財産である河川や海岸、道路の愛護思想の普及を図っており、7月の「河川愛護月間」「海岸愛護月間」、8月の「道路ふれあい月間」において、重点的な取り組みを進めています。

その一環として、長年にわたり愛護活動に尽力し、その功績が特に顕著である個人や団体に対し、知事表彰を行っています。

令和5年度は、河川海岸関係では5団体への表彰を行いました。

今後とも受賞された皆様の御活躍により住みやすい地域づくりが推進されるとともに、愛護活動の輪が広がっていくことを期待しています。

受賞団体：松川湖をきれいにする会（伊東市）、庵原地区連合自治会（静岡市）、静岡・海辺づくりの会（静岡市）、青島第12自治会（藤枝市）、二俣川の岸辺をきれいにする会（浜松市）



二俣川の岸辺をきれいにする会の活動の様子



森副知事との記念撮影

「多自然川づくり事例発表会」を開催しました

10月12日に県庁で、多自然川づくりの優良事例について情報共有を図る発表会を開催し、国・県・市町の担当者160名が参加しました。（WEB含む）

「多自然川づくり」はすべての川づくりの基本であり、以下の3つの方向性を基本方針としています。

- ①河川全体の自然の営みを視野に入れた川づくり
- ②地域の暮らしやまちの歴史・文化と結びついた川づくり
- ③調査、計画、設計、施工、維持管理等の河川管理全般を視野に入れた川づくり

今年度の発表会では、富士土木事務所の一級河川風祭川（富士宮市）における「過去事例に学ぶ ～地域の歴史・文化と結びつく川づくり～」が、グランプリに選ばれました。

富士山麓を流れる風祭川では、江戸時代まで河川内にある「男石」や「御膳石」等の巨石を祭壇として祭事が行われていたことから、河川の改修にあたり、これらの巨石を残しながら大沢崩れで発生した自然石を護岸材料に採用しました。完成後15年が経過したことからモニタリングを行った結果、植生の復元や河床状況等の良好な環境が確認されました。また、隣接する富丘小学校で総合学習が行われるなど、歴史・文化が地域に根付き、継承されている状況が確認できました。

発表会の後、常葉大学の山田辰美名誉教授の「静岡県の多自然川づくり・自然豊かで安全な川づくり」の講演があり、活発な意見交換が行われました。



事例発表会の様子



現在の風祭川

「三保松原の景観改善 10周年記念シンポジウム」を開催します

県は、平成25年6月の富士山世界文化遺産登録を契機として、三保松原の前面に設置した消波堤の景観改善に取り組んできました。令和5年度は、取組開始から10年の節目の年を迎えることから、令和6年2月に「10周年記念シンポジウム」及び関連イベント「サンドバイパス大作戦in三保」を開催します。取組の意義やこれまでの成果をお知らせし、海岸事業に対する県民の理解と関心を深めていただくとともに、美しい砂浜と松原を未来へつなぐために交流を深め、三保松原を核とした地域の将来像について考える機会とします。皆様のご参加をお待ちしております！

三保松原の景観改善 10周年記念シンポジウム

【日時】令和6年2月24日（土）13時半～16時

【会場】清水テルサ1階ホール

【内容】・基調講演「海岸景観とまちづくり」
（日本大学理工学部 教授 岡田 智秀 氏）
・パネルディスカッション「三保松原の景観をまちづくりにどう活かすか」

サンドバイパス大作戦in三保

【日時】令和6年2月17日（土）8時～14時

【集合場所】みほしるべ前広場

【対象】静岡市内の小学生と保護者15組（30名）

【内容】安倍川上流の土砂を自らの手で清水海岸に運ぶ「サンドバイパス」体験 ほか

詳細・申込はこちら→





伊豆の国市

令和5年10月1日、川の駅「伊豆城山」^{いずじょうやま}(狩野川神島公園)がオープンしました。

この公園は、伊豆の国市を南北に流れる狩野川の右岸、狩野川大橋から深沢川合流地点までの高水敷及び堤防に位置する全長1.7km、面積14.1haの広大な公園です。

公園では、ドッグランやバーベキュー、スケボー広場、おもしろ自転車広場、キッチンカーなど、様々なコンテンツを提供していきます。

また、オフロードコースでは、高水敷の地形を生かしたコースや堤防天端などを活用し、シクロクロスやクロスカントリーの競技会を開催するとともに、自転車の試乗会や展示会などにも活用していきます。

さらに、カヌーやサップ、パックラフトなどの水面利用や、環境学習などの水際での利用など、身近な水辺空間を生かした活用を展開していきます。ぜひ川の駅「伊豆城山」にお越しください。



川の駅「伊豆城山」
ホームページ

【お問合せ先】川の駅「伊豆城山」管理事務所 0558-99-9766



川の駅「伊豆城山」全景



10/1 オープニングセレモニー/イベント (全景)



10/1 オープニングセレモニー/イベント (芝生広場)

御殿場市

御殿場市は富士山と箱根山系に挟まれ、黄瀬川と鮎沢川の源を有する自然豊かな地域です。今回紹介する追分川は黄瀬川に注ぐ自然溢れる河川であり、貴重な水生生物の住処でもあります。特に新東名高速道路用地内で見つかった絶滅危惧種であるホトケドジョウは、県内でも生息域が多く失われている貴重な種です。そこでNEXCO中日本と地元の御殿場南高校が協力し、環境調査を行い、水生生物の生息環境に配慮した多様な環境を持つ水路を新東名高速道路建設に合わせ整備しました。また、両者は協同でホトケドジョウを保護、飼育し、令和5年10月には放流を行うに至りました。環境に配慮し、整備した水路では現在も多くの水生生物が確認されています。今後もこの貴重な自然が続いていくことを期待しています。

【お問合せ先】御殿場市道路河川課 TEL：0550-82-4221



ホトケドジョウ



環境調査



放流

静岡県河川協会県外視察研修会

令和5年11月16日・17日に、4年振りとなる「静岡県河川協会県外視察研修会」を宮城県において開催し、県や市町の河川事業担当者21名が参加しました。

今回視察した宮城県の沿岸域は、東日本大震災による津波被害や令和元年10月の台風第19号による水害を受けた地域であり、津波から命を守るとともに震災の記憶を未来に繋ぐ、岩沼市の「千年希望の丘」や、流域治水の考え方にに基づき、まちづくりや防災とも連携して水災害に強い地域づくりに取り組む大郷町の「吉田川河川大規模災害関連事業」など、先進的な取組を学ぶ機会となりました。



千年希望の丘（宮城県岩沼市）



吉田川災害復旧現場（宮城県大郷町）

令和5年度河川関係事務研修会

令和5年9月6日に「令和5年度河川関係事務研修会」を静岡市（もくせい会館）で開催し、会員（市町の実務担当者）や賛助会員等およそ70名の方が参加しました。

研修会では、一般財団法人河川情報センター流域情報事業部長の向井正大氏に「さらなる地域の防災力向上に向けて～行政内の自助・共助・公助について～」と題し、業務継続計画に関する課題や改善のポイントなど市内の水害対応について、わかりやすく御講演いただきました。

また、市町等事例発表では菊川市建設課の松本将孝氏に「菊川市の浸水対策～黒沢川流域における治水への取組み～」と題して、地域の特性と過去の洪水被害を解析して構築した治水対策で挙げている効果について、富士市防災危機管理課の小林和真氏には、「避難につながる河川監視」として、河川監視カメラ・水位計を設置し地域住民とワークショップを重ねて構築した、地域全体での避難体制についてそれぞれ発表していただきました。



さらに、河川実務講習会として、県の河川砂防局職員3名が、流域治水の取組推進や水害訴訟の動向、適切な河川工事・河川管理など、最近の河川行政の取組についての講習を行いました。

いずれも、流域一帯となった水防災に取り組む上で大変参考となる研修となりました。

静岡県河川協会事務局より

謹んで新年のお慶びを申し上げます。

全国的に豪雨災害の激甚化・頻発化が叫ばれる中、本年は、大きな被害を出した昭和49年7月7日のいわゆる七夕豪雨からちょうど50年の節目を迎えます。改めて「流域治水」の考え方に基づく水防災を、強力に推進していくことが求められます。

本年、静岡県が、中部5県で例年開催している「中部地方治水大会」の開催県と決定したのも大変意義深いことではないでしょうか。

静岡県河川協会では、これからも、多くの皆様のお役に立てる事業の実施や情報発信に努めてまいりますので、より一層の御指導・御協力をなにとぞよろしくお願い申し上げます。

お知らせ 行事予定等 ◇令和6年度静岡県河川協会理事会及び総会は、6月に開催を予定しています。

◇中部地方治水大会は、10月に静岡県で開催します。

◇本年度ご好評いただきました静岡県河川協会県外視察研修会は来年度も開催予定です。

ぜひ会員の皆様方の御出席をよろしくお願い致します。

◇静岡県河川協会では、協会の概要や活動報告の他、河川に関するイベント情報やコラムなど、様々なコンテンツをホームページで公開しています。県内河川や海岸に興味を持っていただける内容になっています。ぜひご覧ください！

☆静岡県河川協会ホームページ☆ <https://shizuoka-kasenk.com/>

【連絡先】〒420-8601 静岡市葵区追手町9番6号 静岡県河川協会（静岡県交通基盤部河川砂防局内）
TEL：054-221-3032 FAX：054-221-3260 E-mail：kasenk_shizuoka@yahoo.co.jp

